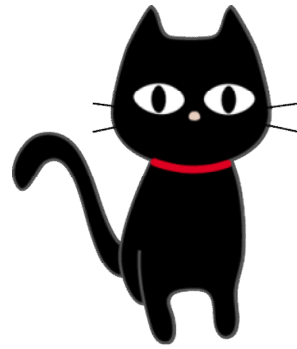


山猫タイムズ

第3号(平成24年8月8日)

発行：花巻市東京事務所



残暑お見舞い申し上げます。
立秋を過ぎましたが、この暑さはしばらく続くようですね。
皆様どうぞご自愛ください。

今年もふれあいました。

東和町町井「カフト虫ふれあい童夢(ドーム)」が7月8日、今シーズンの営業を開始。園内には常時1,000匹以上が放し飼いされ、来園者はクヌギやナラの木に群がるカフトムシを観察したり、餌のゼリーを食べさせたりして楽しんだ。カフトムシによる地域おこしを目的として開催されており、8月12日までの土日・祝日に営業。

こちらもふれあいました。

神奈川県川崎市の小中学生が東和町で農家生活を体験する「ふれあいサマーキャンプ」が8月3～6日に行われた。東日本大震災後2年ぶりの開催となる。今年で通算22回目、農家にホームステイをし、ジャガイモ掘りやトマトの収穫など通じ地元住民との交流を深め、また、日程内に沿岸の被災地見学も行われた。

こちらは満開☆

南部屋敷フェスティバル「八福とせう庵」のゆり園(花巻市高松)が7月中旬、見頃を迎えた。セラダ、フルネロ、トップホワイトなど2万株のゆりがあたり一面に咲き誇り、初夏の里山を彩った。

次代に続け 郷土の宝

7月15日「第19回外川目地区郷土芸能フェスティバル」が大迫町外川目地区社会体育館で行われた。地元から堅沢鹿踊保存会はじめ8団体、市外から3団体が鹿踊や神楽、さんさ踊りなどを披露。会場中が大きな拍手に包まれていた。郷土芸能を通し、住民同士の絆を確かめ、地域おこしへとつなげたい。

酒造大学ってご存知？

南部杜氏セミナー「酒造大学」が7月20日南部杜氏協会研修場(石鳥谷町)で開講した。後継者育成を目的に1990年から毎年実施している。今年は、県内の同協会支部会員や宮城・栃木両県からの一般参加を含む28人が受講。9月上旬までの計9日間、利き酒講座、微生物・品質管理、帳簿記帳など酒造りについて学ぶ。

雑穀はミネラル豊富で美容と健康の味方

フコ農夢花巻は、日本雑穀協会(東京都中央区)と共同企画で開発した新商品を発売した。県産雑穀の「半もちひえ」をベースに「食べやすい雑穀ごはん〜小粒7分」 「花咲かじいさん」 「わたしキ・レ・イの美かた」の3商品。食味の良さや、美容と健康を意識する女性向けなど、それぞれにオリジナリティを持たせた商品となっている。雑穀は種類にもよるが、ビタミンやミネラル、ポリフェノールを含み、光老化や腸内環境の改善にも良いとされている。少しずつでいいので毎日食べ続けることが大切。お問い合わせ：花巻農協農産物直売所「母ちゃんハウスだぁすこ」TEL 0198-24-2914

女性も活躍しています

土沢神楽保存会(東和町)で、新田彩乃さん(24)が活躍中。小学6年生から始め、同保存会唯一の女性舞い手として日々新しい演目の習得を続けている。「会場からの拍手がうれしい。周りに励まされたことで続けられた。主役をできるようになりたい」とさらなる精進を誓う。

生誕150年です。

新渡戸稲造(1862~1933)生誕150年となる今年、広く後世に顕彰しようと「新渡戸稲造博士生誕150年記念事業実行委員会」が設立された。生誕日の9月1日に稲造研究の第一人者による記念講演・祝賀会、今後は顕彰碑の建立などを予定している。

旅のご相談は「いわて花巻旅行社」へお任せください

いわて花巻旅行社(運営：花巻温泉(株))が、皆様の旅のお世話をいたします！沿岸への応援ツアー、温泉宿泊付き早池峰山登山ツアーなど、ご帰郷の際やお仲間同士の県内旅行をお考えの方、ご要望に応じて旅行商品をアレンジいたします。お問い合わせ：いわて花巻旅行社 HP <http://iwatehanamaki.net> TEL 0800-800-1257(711-7762)(土日祝日はTEL 0198-37-2111) FAX 0198-27-2911 e-mail info_ihta@hanamakionsen.co.jp

花巻コールセンター開設

コールセンター業のD10ジャパン(愛媛県松山市)は7月23日、花巻市二枚橋に子会社の花巻コールセンターを開設したと正式に発表した。空き工場の一部200平方メートルを賃借。本格的な稼働は来年4月を予定。50名を新規雇用する計画で、すでに30名弱を採用。

愛と勇気のフルスイング!

花巻市出身のプロ野球ヤクルトスワローズ 畠山選手(湯口出身)が、オールスター第3戦(7月23日)で故郷の空にソロホームランを放った。大声援で迎えてくれたファンに、地元へのエールとなる最高の結果で応えることができた。

毎月29日は「感謝祭」ですよ!

7月29日、大迫町の「九の市」感謝祭が中心市街地で開かれた。同町で毎月9の付く日に開かれていた九の市は、県内最古の市として約400年以上の歴史がある。伝統の市日の活気を取り戻そうと、同町の商店などで組織する大迫町市日整備委員会が、今月から毎月29日を「感謝祭」として定例のイベントを実施する。餅まきや流しそうめんの振る舞い、海産物や農産物の販売など多くの家族連れで賑った。

限定モノに弱いよね・・・

大迫町でのみ販売する村シチワイン「**葡萄園の妖精**」が7月27日発売された。赤と白各600本を販売(各720ミリットル 税込み2,000円)。花巻商工会議所大迫支所が企画、エーテルワインが製造した。2007年から販売を開始し、今回で第6弾目。

販売酒店は小川酒店・村喜本店・かげつ商店・藤倉酒店・近村酒店・角屋商店・高橋商店・ファミリーマート花巻大迫町店の8店。

残念ではありますが・・・

花巻まつりで、花巻開町420年記念行事として計画していた屋形山車の運行を見合わせる事になった。屋形山車は、開町400年祭に合わせ1992年に製作した記念山車。高さ豪華さを競った明治時代初期の屋形山車を復元したもの。総ヒノキ造り、高さ13m、幅3.6m、奥行4m、総重量約3ト。展示用として製作されたため、運行用に改造する予定だったが、改造に予想以上の時間がかかることが判明。今回の花巻まつりでの運行は見合わせ、おまつり広場(旧エセナ、旧旧花巻テニスパート)での展示のみ。来年以降の運行に期待が集まる。

農家経済の向上を!

旧笹間農協組合長で、農業振興に尽力し、その後、参院議員や県議会議長を務めた高橋清孝さん(91)＝花巻市北笹間＝の偉業を称え、顕彰碑が建立された。7月28日に花巻農協笹間支店にて行われた除幕式には、高橋さんご本人も家族と共に出席。地元の皆さんや諸先輩方の指導があったからこそ、と感謝。

夏まつりといえば・・・

7月28、29日、東和町田瀬湖湖水まつりが開かれた。初日は約3,500発の花火が打ち上げられ、湖面と夜空を彩り、大歓声に包まれた。

また、29日は道の駅とうわ(東和町安俵)で第2回東和夏まつりが開かれた。今回は

復興支援をかねて、市内の飲食店が三陸産海産物で作ったコラボ料理が販売され、大船渡市のホタテやイカを使用した焼きそばや、宮古市のタコを入れたしょうゆたこ焼きなどが並び、来場者に大好評だった。

～都内の花巻関連のイベント情報～

「プラネタリウム 宮沢賢治 銀河鉄道の夜」

360°に広がる満点の星の中、あなたも銀河鉄道に乗って旅してみませんか。

日時：投影中～平成24年9月2日(日)まで

会場：府中市郷土の森博物館内プラネタリウム (府中市南町6-32)

京王線「府中駅」からバス～「郷土の森正門前」下車

または、南武線「府中本町駅」、京王線「分倍河原駅」から徒歩20分

または、中央自動車道「国立府中IC」から10分

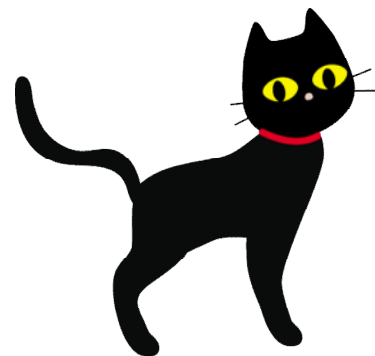
投影時間：日曜・祝日・夏休み 11:00～

(詳しくは出かける前にお問い合わせください)

プラネタリウム観覧料：大人400円(博物館入場料が別途必要(大人200円))

お問い合わせ：府中市郷土の森博物館 TEL 042-368-7921(代)

※イベント内容は予告なく変更する場合がございます。



発行：花巻市東京事務所 (気まぐれ発行)
東京都千代田区有楽町2-2-2 数寄屋橋大雅ビル3階
TEL 03-3573-5773 FAX 03-3573-5727